

高槻市(近畿圏ブロック)

【計画期間 21年12月～27年3月】

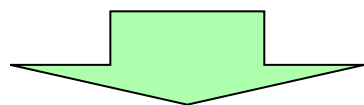
・江戸時代:城下町であり西国街道の中継地点として栄える

・経済成長期:大阪及び京都のベッドタウンとして宅地開発が進む

○近隣型スーパーやロードサイドへ大型店が出店。更に、隣接市へ5万㎡以上の超大型店も出店。

○大阪駅及び京都駅にて大規模開発が進行。

○団塊世代が高齢化し、現在20%超の高齢化率が急激に上昇する可能性がある。



○歩行者・自転車通行量

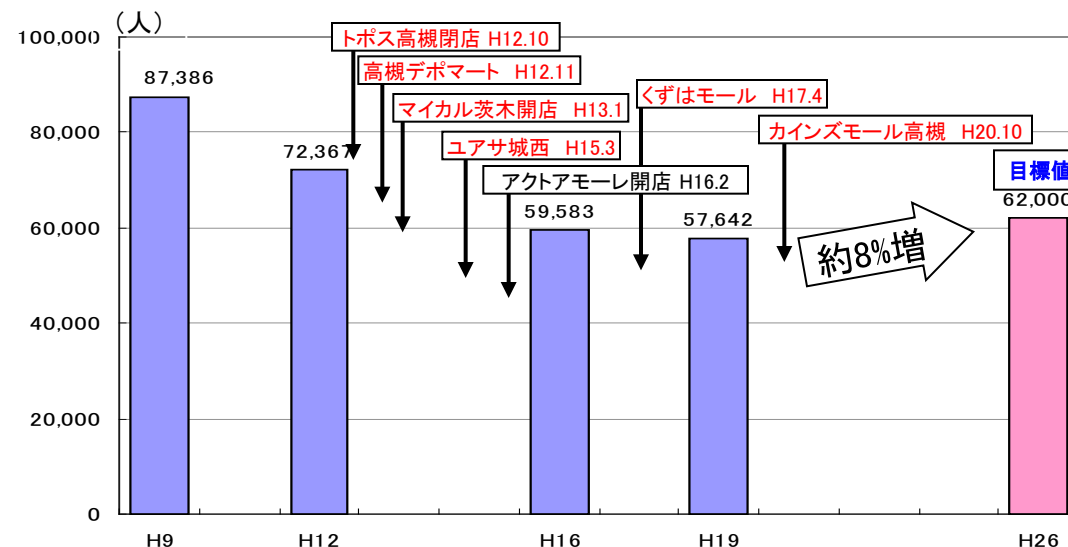
H9:87,386人 → H19:57,642人(▲34%)

○年間商品販売額

H9:1,007億円 → H19:865億円(▲14%)

目標	指標	現況値 (H19)	目標値 (H26)
回遊性の向上	歩行者通行量	57,642人	62,000人
商業の質の向上による 商業集積の吸引力の増進	小売業年間販売額	865億円	870億円

【歩行者通行量[平日(6地点)]の推移と数値目標】



■高槻駅北東地区再開発や集客拠点等の整備により回遊性の向上を目指す。

⇒主要事業:①大学等キャンパス整備及び生涯学習地域拠点整備、②大規模集合住宅整備、

③ジャズのまち発信拠点整備、④高架下空間の美装化、⑤福祉施設整備、⑥地域交流拠点整備

■中心市街地内の商店街と百貨店の連携や集客・複合施設整備等により商業機能の充実を目指す。

⇒主要事業:⑦大規模集客・複合施設整備、⑧まちなか拠点施設整備、⑨松坂屋百貨店のリニューアル

高槻市中心市街地活性化基本計画の事業概要

回遊性の向上

商業機能の充実

○大学等キャンパス整備(①)

小・中・高・大・大学院までの一貫教育を
実践する場を同一
キャンパス内に整備。



○生涯学習地域拠点整備(①)

新設される大学内に、
一般開放される図書
館、生涯学習セン
ター、交流サロン等
を整備。



○大規模集合住宅整備(②)

駅から徒歩3分以内に約900戸の住宅を整備。

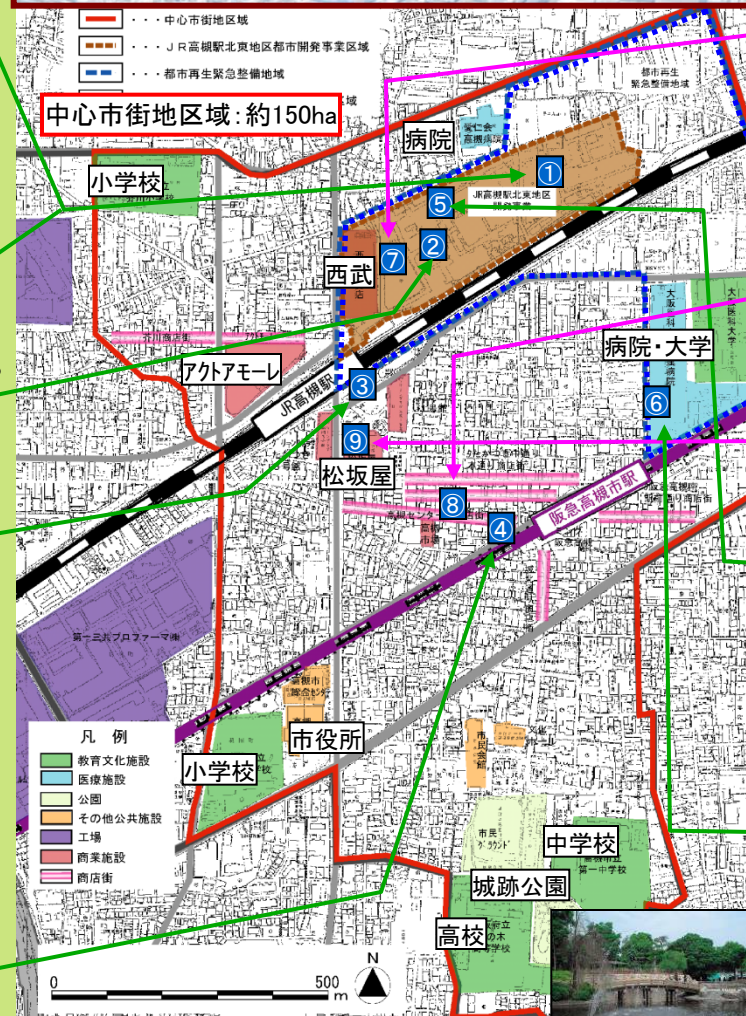
○ジャズのまち発信拠点整備(③)

年間を通してジャズに関連する情報発信
及び活動拠点整備を
行い、市外からの集
客と交流を促進。
「ジャズのまち高槻」
のブランド化を図る。



○高架下空間の美装化(④)

高架下空間の美装
化と照度向上を図る
ことによりイメージの
改善を図り、イベント
広場、ギャラリー等と
して活用。



○大規模集客・複合施設整備(⑦)

近隣の住民等が利用
する物販・飲食(商業)
やスポーツジム、オ
フィス等の複合施設を
整備。



○まちなか拠点施設整備(⑧)

「温泉」を核とした宿
泊・飲食等の複合施設
を整備し、更に、中心
部の生鮮市場、ミニシ
アターのリニューアル
を実施。



○松坂屋百貨店のリニューアル(⑨)

百貨店の改修等と合わせ、地元商店街の連
携による大売出し等の販売促事業を実施。

○福祉施設整備(⑤)

現存する愛仁会病院の
サービス拡充により在宅
サービスセンター及びリ
ハビリテーション病院を
拡張整備。



○地域交流拠点整備(⑥)

歴史資料館(大阪医科
大学内)周辺の緑地の
一部に地域住民に開か
れた憩い空間となる広
場や緑歩道を整備。

